

田沼武能写真展
東京わが残像 1948-1964



《路地裏の緑台将棋》[佃島] 1958年

2019.

2月9日 SAT 土 ↓ 4月14日 SUN 日

開館時間：午前10時～午後6時（入場は午後5時30分まで）
休館日：毎週月曜日 *ただし2月11日（月）祝は開館、翌2月12日（火）は休館。

主催：世田谷美術館（公益財団法人せたがや文化財団）
後援：世田谷区、世田谷区教育委員会、公益社団法人日本写真家協会、公益社団法人日本写真真協会
協賛：東京工芸大学、株式会社ニコン、株式会社コンイメージングジャパン
助成：公益財団法人朝日新聞文化財団、企画協力：株式会社クレヴィス

観覧料：一般1,000(800)円、65歳以上800(600)円、大高生800(600)円、
中小生500(300)円

*（ ）内は20名以上の団体料金。*障害者の方は500円。ただし、小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者（当該障害者1名につき1名）は無料。*リピーター割引＝会期中、本展有料チケットの半券をご提示いただくと、2回目以降は団体料金にてご覧いただけます。

世田谷美術館
SETAGAYA ART MUSEUM

田沼武能写真展

東京わが残像 1948-1964

終戦直後から活躍し、90歳を迎える今も第一線で精力的に活動する写真家・田沼武能(1929-)。田沼は1949年に東京写真工業専門学校(現・東京工芸大学)を卒業後、名取洋之助主宰のサン・ニュース・フォトス社に入り、木村伊兵衛の助手として写真修業をスタートしました。『藝術新潮』の嘱託写真家

として昭和を代表する文化人の肖像写真連載で注目を集めたのち、アメリカのタイム・ライフ社と契約、世界中を取材撮影しフォト・ジャーナリズムの分野でも頭角を現します。1984年からは黒柳徹子ユニセフ親善大使の援助国訪問に毎回同行するほか、これまで120カ国以上で子どもの写真を撮り続けるなど、幅広い分野で活躍しています。

そんな田沼が文化人肖像や世界の子どものとともにライフワークとしているのが、下町を中心とした

「戦後東京」の写真です。浅草の写真館に生まれた田沼は、東京大空襲で家を焼き出され逃げ惑う体験をしました。その時の鮮烈な記憶が自身の写真家としての原点になっているといいます。本展では、終戦直後の廃墟から出発し、さまざまな矛盾を内包しながらも再生を目指し激しく変貌した東京の、オリンピックに至るまでの諸相をとらえた写真を「子ども」「下町」「街の変貌」の3つの視点から紹介します。



《紙芝居に夢中の子どもたち》[佃島] 1955年



《下町のお総菜屋》[本木] 1956年



《ウィンドウ・ショッピング》[銀座] 1953年



《オリンピック開幕で市街を走る聖火ランナー》[東京] 1964年



《国際劇場の屋上で憩う踊り子》[浅草] 1949年



《日本橋の上をまたぐ首都高速道路を建設中》[中央区] 1963年



《ままごと遊びからケンカへ》[浅草] 1955年



《食卓にむかう吉田一家》[駒込] 1964年



《三社祭りを見に来たいきな娘と現代娘とアメリカ青年》[浅草] 1955年

【関連イベント】

●田沼武能 × 大村彦次郎(編集者・文芸評論家)クロストーク

写真家と編集者として長年親交をもつ東京下町生まれのお二人に、子どもの頃のことや東京の街、さらにはこれまでのお仕事についてなど幅広く語っていただきます。

日時:2月23日(土) 午後2時~3時30分(開場は午後1時30分)

場所:当館講堂

定員:先着140名 手話通訳付き

*申込不要、参加無料。当日午後1時からエントランスホールにて整理券を配布。

●田沼武能講演会「わが写真家人生」

本展会期中に90歳の誕生日を迎える田沼氏。本展出品作の解説や新人の頃のエピソードから、海外での取材活動、近年のライフワークまで、70年にわたるご自身の写真家人生についてお話しいたします。

日時:3月16日(土) 午後2時~3時30分(開場は午後1時30分)

場所:当館講堂

定員:先着140名 手話通訳付き

*申込不要、参加無料。当日午後1時からエントランスホールにて整理券を配布。

●東京工芸大学でも田沼武能の写真展を開催!

本展会期中、田沼氏の母校・東京工芸大学の写大ギャラリーでは、田沼武能写真展「童心—世界の子ども」を開催します。本展とあわせてぜひご覧ください。

会期:2019年3月5日(火)~4月27日(土) 午前10時~午後8時(会期中無休・入場無料)

会場:東京工芸大学芸術学部 写大ギャラリー(中野区本町2-4-7 芸術情報館2F)

*詳細はウェブサイト www.shadai.t-kougei.ac.jp/ をご確認ください。

●100円ワークショップ

子どもから大人まで、どなたでもその場で気軽に参加できる工作です。

日時:会期中の毎週土曜日 午後1時~3時(随時受付)

場所:地下創作室 参加費:100円

【同時開催】

ミュージアム コレクションⅢ

アフリカ現代美術コレクションのすべて

開催中~2019年4月7日(日)

【次回企画展】

小野二郎 ある編集者のユートピア
ウィリアム・モリス、畠山文雄、高山建築学校
2019年4月27日(土)~6月23日(日)

【交通案内】

- 東急田園都市線「用賀」駅下車、北口から徒歩17分、もしくは美術館行バスA「美術館」下車徒歩3分
- 小田急線「成城学園前」駅下車、南口から渋谷駅行バスB「砧町」下車徒歩10分
- 小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行バスC「美術館入口」下車徒歩5分
- 来館者専用駐車場(60台、無料):東名高速道路高架下、厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分



世田谷美術館
SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2 TEL:03-3415-6011(代表)
www.setagayaartmuseum.or.jp 展覧会のご案内:03-5777-8600(ハローダイヤル)